

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

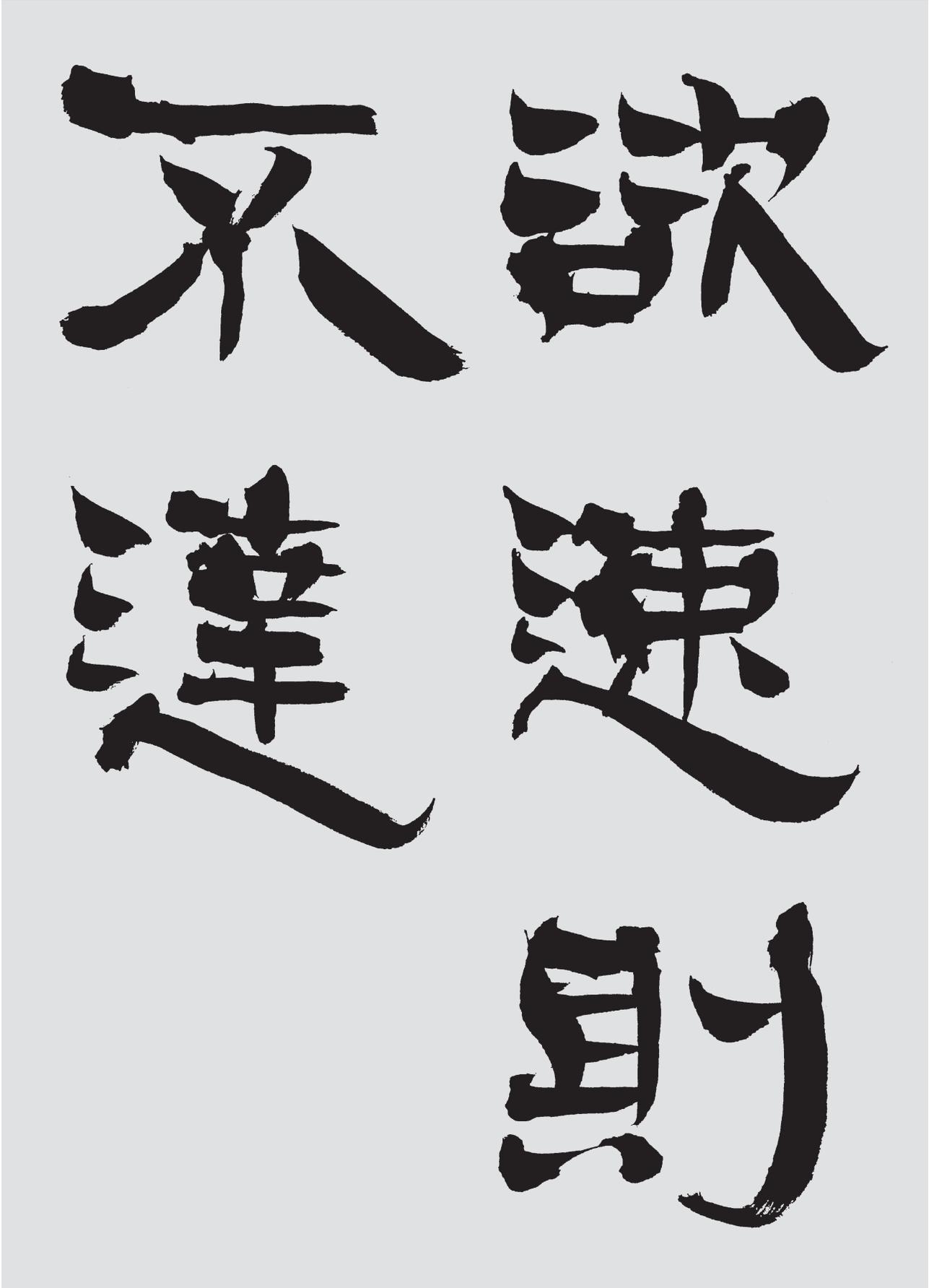


速すみやかなることを欲ほっすれば則すなわちたっ達たつせず

高 木 聖 雨 先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



速すみやかなることを欲ほっすれば則すなわちたっ達せず

高 木 聖 雨 先生

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)

集字聖教序 (東晋・王羲之)

群有之塗炭啓三藏之祕局是以名無翼而

浮 乘 清 郷 先生



道因法師碑 (唐・歐陽通)

闡振嶽符論奔濤喻辯昔



さしのぼる朝日の光ふかみつはやけふりたつをちこちの浪 (若山牧水) ※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(10月10日締切)

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）

州・県に列し、人は編戸に充つ。

州縣人充編

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

郭家等、復た逆乱を造し

半紙規定 (一)

曹全碑（漢・作者不詳）



郭家等復造

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(10月10日締切)

条幅参考手本

舞怯銖衣重笑疑桃臉開方
知漢成帝虛築避風臺

板垣厲跳先生

舞怯銖衣重笑疑桃臉開方知漢成帝虛築避風臺
舞は怯む 銖衣の重きに笑えば疑う 桃臉の開くかと方に知る 漢の成帝虚しく 避風の臺を築けるを

渡邊南嶂先生

落葉滿衡門蕭蕭風雨夕一燈
溪上明何處獨歸客

落葉滿衡門蕭蕭風雨夕一燈溪上明何處獨歸客
落葉衡門に満ち 蕭蕭たる風雨の夕 一灯溪上明らかに 何れの処か独り帰るの客

条幅参考手本

昨夜梁園裏弟寒兄不知庭前看玉樹腸斷憶連枝

大井岳陵先生

昨夜梁園裏弟寒兄不知庭前看玉樹腸斷憶連枝

昨夜梁園の裏（うち） 弟寒けれども兄は知らざらん 庭前に玉樹を看 腸は断えて連枝を憶ふ

朝平霞山先生

あかあかと日はつれなくも秋の風

松尾芭蕉

あかあかと日はつれなくも秋の風（松尾芭蕉）

半紙かな（1級～8級）

秋風やしらきの弓に弦はらん（向井去来）
あきかせ
ゆみ
つる
はら

秋風

しらきの弓に弦はらん

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

船久保 棠 苑 先生

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

（10月10日締切）

実用文（準三段以上）

秋風が心地よい時節となりました。来月の温泉名旅行の件、幹事님께서から日程等の案内が届きましたので、日程が北海道に行くのは実は初めてなので、今からとても楽しみです。

支部

あ

姓

号

大越三宗先生

〈書風任意〉秋風が心地よい…温泉旅行…幹事…日程等の案内…同封…北海道に行くのは実は初めて…

(10月10日締切)

実用文（二段以下）

空気が冷え露を結ぶ始めると

ようやく炎熱の残暑も終わります。

はかなき漂う秋景色の中で嬉しい

実りの季節の到来。

支部 段級 姓号

石田輝仙先生

(10月10日締切)

細 字

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

往おう耕こう 馬ば
 畦けい 耕作する馬。
 あぜ道を往ゆく。

支 部	耕馬	耕馬	耕馬	耕馬
段 級	往畦	往畦	往畦	往畦
姓	射被帽	射被帽	射被帽	射被帽
号				

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

(10月10日締切)

硬筆（初段以上）

月が輝きを増す秋。夏と比べて
気温が低く、空気も澄み、北の空
高く上がるようになってくる。中秋の名月
を眺めながら昔の貴族の方々のよう
に歌を詠んでみてはどうでしょう。

支那名 画 姓号

月が輝きを…澄み、北の空高く…。

青柳江雲先生

(10月10日締切)

硬筆（4級以下）

硬筆（1級～3級）

本院定型用紙・たて半分に書く

鳥海山は万年雪を頂き、山岳修
 験の聖地として仰がれている。
 支部名 級 姓 号

若 月 久美子 先生

鳥海山は万年雪を頂き、山岳修
 験の聖地として仰がれている。
 支部名 級 姓 号

若 月 久美子 先生

(10月10日締切)

中2用

支 部 名	月	初
段 級	夜	秋
名		の
前		

渡
邊
南
嶂
先
生

中3用

支 部 名	山	紅
段 級	野	葉
名		の
前		

大
越
三
宗
先
生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月12日締切）

小6用

支部名
 段級
 名
 前

の新米の味

渡邊南嶂先生

中1用

支部名
 段級
 名
 前

台風型の大

渡邊南嶂先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月12日締切）

小2用



小3用



鈴木 翡翠 先生

鈴木 翡翠 先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題 (10月12日締切)

中1用

教科書の本文を読んで感想文をまとめる。

中1～中3

中2用

野鳥が住めるような自然環境にしたい。

青柳江雲先生

中3用

急にさえ渡った空に、秋の星座が昇り始めた。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

ひも

鈴木 翡翠 先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月12日締切）

小1・幼年用

あきは、くだものがいい
ぱいあります。

小1～小3

小2用

とおくで、川の水がひ
かっています。

田 辺 翠 鶴 先生

小3用

ススキが出はじめた。
もうすっかり秋です。

小4用

高原の風に、コスモス
の花が、大きくゆれた。

小4～小6

小5用

海辺では、雲が流れ、
まつ林が風にさわぐ。

小6用

学生書道コンクールで、
特選をもらった。

齊 藤 翡 流 先生

10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題（10月12日締切）

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

虫の声
秋は近し

主幹 菅野翠濤

季語Ⅱ 「蔦の葉」

大木にからんだ蔦の葉が紅葉し、峰を吹きわたる秋風に一葉のこらさず動いている、の意。

支部名

段級

名

前

つたの葉や
のらさずはるはる秋の
風

船久保 棠苑 先生